



令和4年度(2022年)12月号 萩市立椿東小学校

## 学校だより 『椿 とう しょう がっ こう 笑 楽 考』

### 地域の皆様とお祝いした 椿東小150歳の誕生日！

校長 藤中 俊臣

10月30日(日)高く澄んだ秋空のもと、「開校150周年記念式典」を執り行いました。当日は、田中 文夫萩市長様を始め、多数の保護者や地域の皆様にご来校いただき、祝意を表していただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

これまでの150周年の取組のクライマックスとも言える記念式典。中心となって活躍してくれたのは、6年生です。「150年目の最上級生」という強い自覚と責任感で、リーダーシップを発揮し、歴史と伝統溢れる「椿東小の最上級生」という名のバトンを見事に受け継いだ6年生は本校の誇りです。

コロナ禍で、来校制限をせざるを得ない状況での開催となりましたが、今回新たな試みとして、式典の様子をオンデマンド配信させていただき好評を得たところです。



全校で作り上げたキャップアート！

### “金カラ”の演奏が150周年に華を添える！

第1部の「音楽参観日」に引き続き、第2部に登場したのが、本校自慢の金管カラーガードクラブです。迫力ある演奏や演技で会場を魅了し、田中市長様からもお褒めの言葉をいただきました。

“金カラ”の演奏や演技は、見る人に元気を与えてくれます。コロナ禍の中、工夫しながら本番に向け努力を重ねてきた部員の皆さん、本当にお疲れ様でした。



金カラの華やかな演技で第2部スタート！

### 感謝の気持ちを萩焼に込めて・・・

第3部では、7月に作った萩焼の箸置きを地域の団体の方に贈呈しました。これは、日頃お世話になっている地域の皆様へ感謝の気持ちを表すため、6年生が学校を代表として制作、贈呈したものです。

世界にたったひとつしかない萩焼の箸置き。日頃から使っていただき、毎日椿東小の子どもたちのことを思っただけですと幸いです。

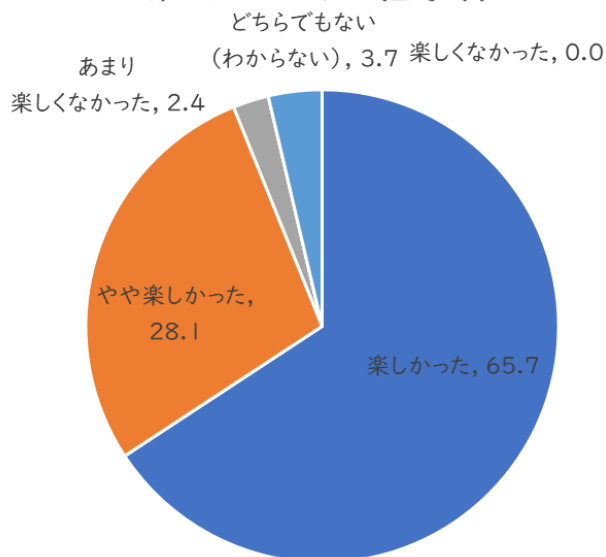
感謝の気持ちが込められた萩焼を贈ります！



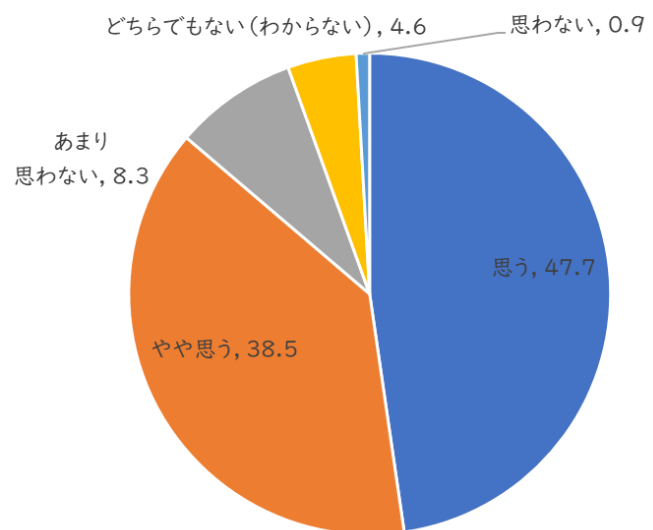
## 開校150周年記念事業の子どもたちの振り返りを紹介します！

今年度は開校150周年という節目の年を迎え、様々な記念事業（航空写真撮影、地域探訪ウォークラリー、横断幕&のぼり旗作成、萩焼の日、宇宙プロジェクト、キャップアート作成、記念式典）を行いました。どの取組においても「子ども主体」の視点を大切にすることによって、子どもたちの豊かな学びの実現をめざしました。すべての開校150周年記念事業の取組が終わった今、子どもたちはどのような学びを獲得したのでしょうか。子どもたちの振り返りを紹介します。

開校150周年記念事業の取組は  
楽しかったですか(全学年)



開校150周年記念事業の取組をとおして、あなたは学年・  
学校のために行動することができましたか(全学年)



どちらの設問も肯定的な意見が多かったです。しかし、否定的な意見も見られるため、その中身をよく分析し、今後の特別活動等の充実に生かしていきます。また、学年・学校のためだけでなく、地域のためにも行動していきたいという帰属意識の育成にも取り組んでいきます。

### ○開校150周年記念事業の取組をとおして、あなたはどんなことを学びましたか。

(どの学年も開校150周年記念事業ならではの学びを獲得していることがわかります。)

- 【1年】・ウォークラリーでむかしのことやしょういんせんせいのがわかった。  
・はぎやきづくりがはじめてで、たのしかった。
- 【2年】・みんなできょうりょくすることのたいせつさを学びました。  
・学校はぼくが生まれてないとき作られて、それが150さいになるなんてすごい。
- 【3年】・ウォークラリーで、「地域のここがすごい！」というところに気付きました。  
・ウォークラリーやキャップアート制作でなかよし班の人と仲よくなれた。
- 【4年】・こんなすばらしい樺東地区に住めてとても幸せだと思った。  
・地域の人にエールを送れるとうれしい。これからも地域の方に感謝していきたい。
- 【5年】・地域の皆さんと関わることで、いろんな人との関係を築くことができた。  
・協力すると何でもできるし、自然に関わりもできてくるのがわかった。  
・樺東小のことが大好きだから、自分たちの母校を誇りに思っていきたいと思った。
- 【6年】・夢をもって、その夢をかなえるために、これからも一生懸命頑張ろうと思った。  
・リーダーとしてみんなのために動くことができたと思った。  
・誰かのために何かをするということがとても大切だと思った。